

第15回 古代武器研究会

日時 2018 (平成30) 年 12月 1日 (土) 13:15 ~ 18:00
2日 (日) 9:00 ~ 15:10
会場 山口大学人文学部事務棟 4F 大会議室 [吉田キャンパス]
(〒753-8540 山口市吉田 1677-1 山口大学人文学部)
主催 古代武器研究会・山口大学考古学研究室
参加費 無料 (資料代実費)

古墳時代中期の政権と朝鮮半島 (韓半島)

今回、2016年度に着手した科学研究費助成事業「古墳時代中期の政権に関する基礎的研究—古市古墳群高塚山古墳出土資料の研究—」(研究代表: 田中晋作)の成果報告の場として本研究会をお借りすることになりました。本事業は、古市古墳群高塚山古墳出土資料の整理、検討を主眼とするものですが、これに付帯して当該時の政権を支えた軍事やこれに関連した日本列島と朝鮮半島(韓半島)とのさまざまな関係についても検討を重ねてきました。今回は、この付帯研究の成果を「古墳時代中期の政権と朝鮮半島(韓半島)」というテーマを設けて報告させていただきます。

さて、古墳時代中期に入り、帯金式甲冑を中心にした大量の武器の副葬や埋納がはじまります。このような現象は、ひとつには軍事的な対処によって解決を必要とした新たな政治的課題によって生じたものと考えられ、これまで本研究会でもさまざまな視点から取り組んできた課題でもあります。これに加え、近年朝鮮半島南部および南西部の海浜地域や島嶼部に位置する中小規模古墳から帯金式甲冑の出土事例が相次ぎ、多くの研究者の注目するところとなっています。本研究では、朝鮮半島でみられる帯金式甲冑や政権の中樞を担った百舌鳥・古市古墳群の勢力と当該地域との関係、さらに、両古墳群の勢力の影響が強く及んだ九州地域の動静を含めた検討を課題のひとつとして取り上げました。

一方、このような軍事的関係となって発現する背景について検討することも重要な課題としています。今回の研究では、とくに古市古墳群で出土している朝鮮半島との関係を示す遺構や遺物を手がかりにして、このことについて考えることにしました。古市古墳群では、これまで数多くの論考で取り上げられてきた誉田丸山古墳や鞍塚古墳の馬具、また野中古墳の陶質土器など朝鮮半島との関係を示す遺物が知られています。ところが、藤の森古墳の横穴式石室のように、資料上の制約によって十分な検討が行われてこなかった遺構や、盾塚古墳の鐮子状鉄器、珠金塚古墳の鉄柄をもつ鐮形鉄器や鏃、藤の森古墳の鏃や釘などのように、これまで検討の俎上にほとんど載ることがなかった遺物も存在しています。今回は、百済との関係が想定されている横穴式石室が当該期の政権中樞勢力の核となる古市古墳群内に出現する現象や、各種生産との関わりを象徴する農工具に現れた朝鮮半島からの新たな影響について考えていただきました。

限られた内容ですが、今回の研究会が考古学からみた古墳時代中期の政権と朝鮮半島との関係について検討していただく場となればと願っています。



古代武器研究会

第15回 古代武器研究会

古墳時代中期の政権と朝鮮半島（韓半島）

12月1日（土）

- 12：30 開場・受付開始
- 13：15 挨拶・趣旨説明
- 13：30 研究報告① 「武器大量埋納の始まりと政権」
高橋 工（大阪文化財研究所）
- 14：25 研究報告② 「5世紀代における韓半島南部地域と倭の交渉」
趙 晟元（釜慶大學校博物館）
【通訳・翻訳】 松永 悦枝（奈良文化財研究所）
- 15：55 休憩
- 16：10 研究報告③ 「韓半島の帯金系甲冑」
呉 光燮（蔚山文化財研究院）
【通訳・翻訳】 金 宇大（京都大学白眉センター）
- 17：40 事務連絡・移動
- 19：00 懇親会（湯田温泉：防長苑）

12月2日（日）

- 9：00 研究報告④ 「日韓の横穴式石室にみられる2つの埋葬習俗」
太田 宏明（河内長野市教育委員会）
- 9：55 研究報告⑤ 「鉄製農工具をとおしてみた古墳時代中期の韓日交渉」
李 東冠（国立晋州博物館）
【翻訳】 平郡達哉（島根大学法文学部）
- 10：50 休憩
- 11：05 研究報告⑥ 「中期畿内政権の九州地方管理・経営戦略」
藤田 和尊（御所市教育委員会）
- 12：00 昼食
- 13：00 総合討議 【進行】 柳本 照男（大阪大学外国語学部 元・東洋大學校）
田中 晋作（山口大学人文学部）
- 15：00 挨拶
- 15：10 終了

会場 山口大学人文学部事務棟4F大会議室

〈連絡先〉 〒753-8540 山口市吉田 1677-1 山口大学人文学部 田中 晋作
TEL. 083-933-5238 E-mail s-tanaka@yamaguchi-u.ac.jp